

質問

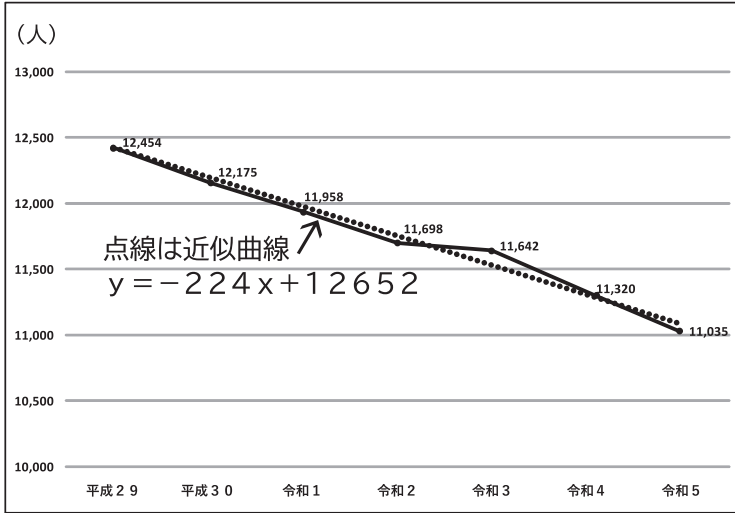
# 生活実態を誰が把握するのか



内田 裕紀 議員

健康福祉課長

## 保健師等が各地区を回り把握



奥出雲町の人口の推移

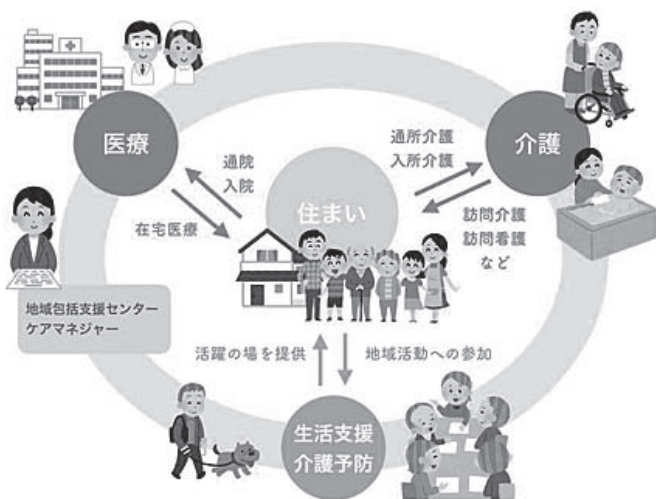
**質問** 人口減少が、現状のままで推移するとあと5年後には1万人を切る状況だ。このような状況下で、医療、介護、生活支援などそれぞれの組織、施設が役割を明確にし、一体的な連携を図る地域包括ケアシステムの構築が必要だ。高齢者等、

各世帯一人ひとりの生活の実態等について誰が把握し、連携を図り、最適な支援サービスを提供していくのか。

健康福祉課長 「まめネット」は県内全域を結ぶネットワークシステムであり、病院、診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護施設等が連携し、患者等の診療情報を共有し、サー

**質問** 県が提供・支援しているしまね医療連携ネットワークシステム「まめネット」の加入実態と活用状況は。

の保健師やケアマネージャーが家庭訪問や健診、また健康相談、高齢者サロン等で、民生委員にも協力を得て生活の実態を把握している。ケースによっては、医療、介護、福祉、子育て等の関係機関と連携を図り、支援サービスを提供している。



地域包括ケアシステムのイメージ図

**質問** 本町の地域医療、また地域包括ケアシステムの中核となる奥出雲病院の連携を、医師とケアマネージャーで共有、活用している。

携の実態と今後の取り組みは。病院事務長 救急搬送される患者の生活や住まいの実態把握が難しい状況である。高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、サービスをひとまともに提供できるように病院として考えていきたい。

一般質問